

2011/12 Weekly Bulletin



国際ロータリー 第 2790 地区 第 3 分区 B

市原ロータリークラブ会報



第 2,325 回 例会 2011 年 9 月 21 日 (水) SAA/ 山崎 会員 会報担当: 上條 会員
例会会場: 五井グランドホテル 市原市五井 5584-1 事務局 0438-38-3535

☆ 点 鐘 市原 RC 会長 斉藤 榮志 ☆ ソング 手に手つないで
☆ お客様 NPO 法人 こころの相談室いちはら 西村 妙子様

会長挨拶 市原 RC 会長 斉藤 榮志



先週のロータリー情報研究会では多くの会員の皆様にお手伝いいただきまして、ありがとうございました。まだ、参加いただいた各クラブの皆さんからの感想は私の耳には届いておりませんが、おかげ様を持ちまして大過なくホストクラブとしての務めを果たせたかなと思っています。本年度はこの後2月にIMも控えておりまして、皆様には今一度ご足労をお掛けしなければなりません、何卒、ご尽力の程、よろしく願い申し上げます。IMでの齊藤パストガバナーの基調講演でのお話は、入会年数の浅い会員の方には始めて聞くお話の内容だったかも知れませんが、市原RCにある程度の年数在籍されている方は幾つかの部分は既に幾度かお聞きしたことがあるものであったかと思えます。齊藤パストガバナーのロータリーの歴史を踏まえた理念の原理に迫るお話は、私自身、最初にお聞きした時にはほとんど理解が出来ず、三木ガバナー補佐の当日のご挨拶の中のジョークではありませんが、いい睡眠薬となってしまいそうでした。然しながら、十余年の時間を市原RCで過ごした今は、もちろん完璧に理解できるわけではありませんが、興味を持ってお聞きすることが出来る様になり、また理解できる部分も段々増えて来ました。ロータリーを特別勉強したわけでもないのですが、十何年か市原RCに在籍している内に自然と私の体の中に染み込んできた何かは私の変化を起こさせているのだと思います。ということで、これからもロータリー情報を数多く会員の皆様にお伝えして、ロータリーが染み込んでいくように務めて参ります。

幹事報告 幹事 山本 順也



来週28日例会の卓話は小説家の竹田真砂子様です。点鐘は12時半ですが、12時から食事できますので、早めにお越し下さい。

委員会報告

1. 三木ガバナー補佐 9/14のIM出席方お礼
2. 篠田親睦活動委員長 10/18(火)市原中央RCとの合同例会&親睦ゴルフ会案内

表彰



(米山功労者(三木敏靖)会員)

メインプログラム



「NPO法人・心の相談室いちはら」の取り組みについて
ゲストスピーカー 心理カウンセラー・西村 妙子様

「NPO法人・心の相談室いちはら」は8年前に開設しました。大勢の「心の病」を持たれた方がおいでになります。心の病とは自分で自分の心をコントロール出来なくなった方のことです。私は「千葉のちの電話24Hr」という電話相談のボランティア活動を13年間しておりました。主に自殺防止の相談相手として、日本には年間自殺者が34,000人もおります。相談の受け止め方はマニュアルがありまして、それに沿って話し相手を務めますが、昼夜を問わずに相談の電話が入ってきますので、その内に私自身が”うつ”になってしまったのです。いのちの電話は一期一会です。後からの追跡が効かないのです。病が癒えて、ボランティア活動を再開しようと思ったときに、精神科医である当団体の理事長・大田廣三郎さんに相談して、面談によるカウンセリングを10人ほどの仲間と行なうこととなりました。それが「心の相談室いちはら」でして、今では年間500件ほどの相談依頼を受けています。“うつ”は4人に一人はかかるという病気です。うつ症状とうつ病とは違います。うつ症状は安定剤等で良くなります。しかし、放置しておいたりしますとうつ病に発展したりしますので、“うつ”かなと思ったら早めに相談するのが得策です。カウンセリングは通常5千円程度ですが、当相談室では初回60分2千円、2回目以降は千円で行なっています。破格の料金で財政は厳しいのですが、ご理解を頂いて寄付金を寄せてくれる企業が団体もあり、今後も当分は料金改正無しで運営していく所存です。“うつ”が進化しますと家庭内暴力、離婚、不登校、引きこもりなど、さまざまな現象を表します。最近の若者は心が狭くなっていると思います。そのために

逆境に弱いのです。不登校や引きこもりの場合に、最初に相談に来るのはたいてい母親です。両親がそろって相談に来るケースもありますが、この場合は比較的早くに全治することが多いようです。母親にうつ病の子供達への接し方を教えます。うつ病の患者は他人との摩擦を避けているのです。ですからあまりうるさいことは言わないようにさせます。

そうしますと本人も病を治したいのですから、それに気が付き、母親と相談に来るようになればしめたもので、全快も見えてきます。私どもカウンセラーも徐々に摩擦になるようなことを本人に話し、抵抗力を付けていきます。周囲の人と徐々に摩擦を強くして解決に結び付けていきます。うつ”が高じてクルマにキズを付け、120万円の賠償をさせられた例があります。しかもその親御さんは年金生活者で、大変なご苦勞をされました。また、最近ではDV(ドメスティックバイオレンス=家庭内暴力)へと発展するケースも多いようです。

お近くに”うつ”かもしれないと感じる方がおいででしたら、気楽に当相談室にお電話をください。



NPO法人
こころの相談室
いちはら
千葉県市原市五井中央西2-7-15
ウルマ駅前ビル5階 516号室
TEL 0436-21-0033

悩みのある方ご相談下さい。

ニコニコ・Sorryボックス

1. 三木敏靖

「案ずるより生むは安し」という言葉がありますが、9/14 R情報研究会を皆々様の絶大なご協力により、無事乗り切れました。ありがとうございます。

2. 齋藤会長・山本幹事

西村様、今日は貴重なお話をありがとうございました。

出席報告 前々回 68.18% 本日出席 29名 欠席 15名 出席率 65.91%